

8. 「日本のシェイクスピア受容の問題点と展望」、『武蔵野短期大学研究紀要』第5輯、武蔵野短期大学、平成3年6月、ISSN:0288-8025

195-202頁

シェイクスピア書誌を通して研究書や上演史に注目した。拙著『日本シェイクスピア総覧』とこれまでの書誌の違いを先ず明らかにした。本書の成立には資料の蒐集という現物の確認が背後にあり、実際に利用に際しては、書名だけではなく、収録されている論文やそのページ数まで明らかにし、その論文等の評価はあくまでも利用者にまかせることにした。できるだけ客観的な立場で資料のリスト・アップに務めた。さらに、今後の展望として、日本独特のシェイクスピア研究や上演、さらには英文によるシェイクスピア研究書の出版など、日本からの発信型のシェイクスピア研究などを指摘し、発信型の演劇交流、学术交流といった国際文化交流への必要性を説いた。(B5)